

令和8年度 内子高等学校 シラバス

教 科	家庭	科 目	生活産業情報	単位数	2単位	学 年	3学年
教科書	生活産業情報 (実教)		副教材等				

1 学習の目標

生活産業の各分野における情報の意義や役割、情報及び情報技術を活用する方法について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

生活産業に関する課題を情報及び情報技術を活用して発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

生活産業における情報及び情報技術の活用や専門性の向上を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 情報化の進展と生活産業	・ 情報通信ネットワークを活用した生活情報の送受信が進展してきたことと、今後予想される情報社会についての概要を理解する。	期末考查
	第2章 情報モラルとセキュリティ	・ 情報化が進展したことによる私たちの生活や産業における変化と、その問題点について理解した上で、その解決に向けて考察する。 ・ ネットワーク社会のモラルとマナーについて、具体的な事例を踏まえて理解する。 ・ 個人情報や知的財産権について理解する。自分自身の情報管理の重要性とともに、日常生活の中で侵害する側になっていないか確認する。 ・ 情報関連の法律の概要を理解する。	
第2学期	第3章 コンピュータとプログラミング	・ 情報機器の基本構成（ハード・ソフト）と、それぞれの機能と動作を理解する。	期末考查
	第4章 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン	・ モデル化とシミュレーションの概要を理解し、具体的な活用例について学ぶ。	
	第5章 各種アプリケーションの基本操作	・ 様々なメディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を理解する。 ・ 生活産業の中で消費者と企業がどのようにコミュニケーションに利用しているかを理解する。 ・ 文書作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、画像処理ソフトなどの概要を理解し、操作方法を習得する。	
第3学期	第6章 生活産業に関連した情報デザイン	・ それぞれの分野、対象、目的を明確にした情報コンテンツの作成を行う。 ・ 関連した情報を収集・処理・分析し、表現することができるようになる。 ・ 各種アプリケーションを必要に応じて使い分け、効果的に利用することができる。	

3 評価の規準

【知識・技能】

生活産業の各分野における情報の意義や役割、情報モラル、セキュリティ、プログラミングや情報通信ネットワークを理解することができる。

【思考・判断・表現】

衣食住、保育、家庭看護及び介護などのヒューマンサービスに関わる情報を情報機器や情報通信ネットワークを活用し、収集、処理、分析することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

積極的に情報機器や情報通信ネットワークを活用することや、自らの専門性の向上を図るために、主体的に学ぶことができる。

4 評価方法

プリント、ニュース記事、グループワーク、小テスト、定期考查、実習課題などの評価について、定期考查後に評価します。

5 学習のアドバイス

「振り返りシート」を利用し、学習で得た気づきを自分の生活に結びつけ、学んだ知識や技術を自分の生活の中で実践できるようにしましょう。